

市町村のスポーツ施設整備等に関する 構想等の状況調査結果

令和7年3月17日（月）
熊本県観光文化部スポーツ交流企画課

調査の概要

調査の目的

県営スポーツ施設整備の方向性の検討に当たっては、市町村との連携や役割分担などの整理も重要であり、そのためにも、各市町村のスポーツ施設整備に関する状況等を把握する必要があることから、本調査を実施。

調査の内容

各市町村における①野球場(硬式)、②武道館、③アリーナ、④サッカースタジアムの施設整備に関する構想等の有無について調査。

例:現在自ら施設を整備する具体的な計画がある、自ら財政負担などを講じ
公民連携による具体的な構想又は整備計画がある場合

※ 単に県有スポーツ施設を誘致するだけの構想等については対象外

※ 該当ない場合は回答不要

調査期間

令和6年(2024年)12月9日(月)～令和7年(2025年)1月15日(水)

調査結果

3団体からスポーツ施設整備に関する構想等がある旨の回答あり

団体名	施設種別	構想等の概要
八代市	アリーナ 武道館	新八代駅周辺にアリーナを中心とした大規模集客施設の整備を検討。 (令和6年11月25日の第2回「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」での説明のとおり)
菊陽町	野球場	令和6年5月に「新球場誘致に係る関連調査等業務委託」を実施。県営球場誘致の実現に向け、県の負担の最小化に資する町独自の提案を既に準備。 (令和6年11月25日の第2回「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」での説明のとおり)
御船町	—	<p>○<u>検討概要</u> キッズドリーム運動公園プロジェクトで、「スポーツ環境」「健康増進」「子育て支援」の3つの軸に「複合機能」を加えて、災害時には「防災拠点」としての機能を兼ね備えた複合拠点の整備を検討。</p> <p>○<u>背景</u> 町総合計画において、熊本地震からの創造的復興の象徴のなる取組として本プロジェクトを位置付けており、子どもが夢を描けるような環境整備、子どもの居場所、子育て世代の応援、多世代の健康増進を視点に、新たな拠点整備の推進に至った。</p> <p>○<u>スケジュール</u> 令和6年度中に町が導入したい施設機能や既存施設(スポーツセンター、町民グラウンド、カルチャーセンター等)の見直しを検討後、令和7年度中に基本構想策定を予定。</p>